

決算特別委員会（全体会） 記録

開 議 年 月 日	令和 5 年 10 月 5 日
開 議 時 刻	午前 9 時 58 分
閉 会 時 刻	午前 10 時 31 分
出 席 委 員 名	◎福井輝夫 ○鈴木豊司 三野泰嗣 川口 浩
	大西要一 宮崎 誠 中村 功 井村貴志
	上村和生 北村 勝 楠木宏彦 野崎隆太
	野口佳子 岡田善行 辻 孝記 吉岡勝裕
	藤原清史 西山則夫 浜口和久 宿 典泰
	品川幸久 議長
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	三野泰嗣 川口 浩
担 当 書 記	森田晃司
審 査 案 件	議案第 66 号 令和 4 年度決算認定について
	議案第 67 号 令和 4 年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和 4 年度伊勢市病院事業会計決算認定について
	議案第 68 号 令和 4 年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和 4 年度伊勢市水道事業会計決算認定について
	議案第 69 号 令和 4 年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和 4 年度伊勢市下水道事業会計決算認定について
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

福井委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第66号 令和4年度決算認定について」外3件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、1件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、会議を閉会した。

なお、4議案の起立採決の結果、それぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定した。

その詳細については以下のとおり。

開議 午前9時58分

◎福井輝夫委員長

ただいまから決算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者は、当初決定のとおりです。

本日、御審査いただきます案件は、「議案第66号 令和4年度決算認定について」外3件であります。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から御報告をいただき、報告に対する質疑、総括質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

審査の都合により、「議案第66号 令和4年度決算認定について」外3件を一括議題といたします。

それでは、各分科会からの報告をお願いします。

最初に産業建設分科会、野崎会長からお願いいたします。

野崎会長。

○野崎隆太産業建設分科会会長

去る9月19日の決算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第66号 令和4年度決算認定について」外2件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月22日及び9月25日に審査を行いました。

「議案第66号 令和4年度決算認定について」中、当分科会関係分、「議案第68号 令和4年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市水道事業会計決算認定について」及び「議案第69号 令和4年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市

下水道事業会計決算認定について」は、それぞれ可決、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、議案第66号中、当分科会関係分のうち、一般会計の歳入においては、未収となっている住宅使用料について、適切な滞納整理を求める意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、労働費においては、事務の概要書について、事業目的に対する成果の記載がないことを指摘する意見、雇用支援について、求人に対して人が集まらない職種があることから、様々な周知を行い、事業の推進を期待する意見、シルバー人材センター運営補助について、高齢者支援と地域社会発展につなげることを期待する意見及びインボイス制度導入について、慎重に対応することを求める意見がありました。

農林水産業費においては、農業委員会委員の認定農業者等の割合が少ない現状について、役員改選の時期ではなく、早期から周知を行うことを提案する意見、水田におけるジャンボタニシの影響が減っている現状について、油断せず今後も対策することを期待する意見、農作物ブランド化について、PRイベント等において参加者の声を聴くことを求める意見及び農業者所得向上の取組に期待する意見、地産地消について、さらなる成果を期待する意見、新規就農者支援について、新しい取組を行い、就農者を増やすことを期待する意見、有機・減農薬栽培について、農業・環境の両面に配慮した政策を期待する意見、農村振興基本計画について、中間評価の基準が甘いと指摘する意見、多面的機能支払交付金について、交付組織に高齢化問題があることの再認識が必要との意見、産直施設風輪について、独立採算となるよう事業成功を期待する意見、排水機場維持管理について、管理・運営者の環境改善を求める意見、獣害防止事業について、被害が出ている地域が安全な場所になるよう期待する意見、種苗放流について、十分な成果が出るようさらなる努力を期待する意見、担い手対策について、陸上養殖等を周知することで小学生が将来を描けるような取組を期待する意見がありました。

商工費においては、EC販路開拓支援について、ウェブサイトを開設して終わるのではなく、掲載店を増やすことを期待する意見、地域おこし協力隊について、3名のうち2名が活動を辞めたことから、活動を継続してもらえる環境づくりを期待する意見、廃止となる産業支援センターについて、土地・建物・サービスを慎重かつ早期に引き継ぐことを求める意見、企業立地について、かつて活用を検討していた大仏山公園付近の土地の再検討を求める意見がありました。

観光費においては、観光地等混雑緩和について、観光客にとって満足度の高い体験に寄与できるよう期待する意見、修学旅行生誘致について、コロナ禍で伊勢志摩への来訪が増えたことから、引き続き伊勢志摩に来てもらえるよう修学旅行のあり方の研究に期待する意見、着地型旅行商品造成販売について、観光客への分かりやすい周知を求める意見、ウェブサイトを活用した情報発信について、SEO対策として行ったインフルエンサーによる動画配信は効果的であるとの意見、常若婚にかかる事業について、分析結果を今後に生かすことを期待する意見、クリエイターズ・ワーケーションについて、事業効果を把握することが大事であるとの意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、早期に調査を完了できるよう事業の推進を期待

する意見及び課題を解決するために担当職員増員を提案する意見、通学路維持補修について、市民の安全を最優先に取組を継続していくことを期待する意見及び要対応リストから漏れている危険な箇所があり、子供たちが安全に通学できないと指摘する意見、神菌11-1号線道路整備について、工事費が多額となっていることから、市民への説明を求める意見、消えかかっている道路区画線について、円滑な道路環境の整備を期待する意見、高向小俣線について、道路完成に年数を要することが想定されることから、早期完成を期待する意見、一之木5丁目16号線について、土地の買収に応じてもらえるよう、さらなる努力を期待する意見、伊勢市駅前B地区市街地再開発ビルについて、1階テナントが決まっていない状況から、市民への説明、報告を求める意見、大湊排水路改良工事について、早期の完了を期待する意見、小木川について、豪雨時に危険な河川となる認識を持ち、見回りの強化及び早期の河川改修を求める意見、宇治山田港湾について、港湾の活性化を促進するため、NPO等とのさらなる連携を期待する意見、立地適正化計画について、市民に計画を理解してもらうためにインセンティブをつけることを提案する意見、岡本吹上線の無電柱化について、安全・安心・防災面の観点からも工事の早期完成を期待する意見、集まれこどもたち公園整備事業について、事業の成功には地域の声を聴くことが大切であるとの意見、宮川河川敷公園整備について、さらなる努力を期待する意見、空き家対策について、空き家等実態調査が5年に1度しかなく、空き家問題の解決にはならないのではと指摘する意見及び特定空家への対応を今後も粘り強く続けることを期待する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、住宅新築資金等貸付事業特別会計においては、貸付金について、市民の税金であるため、債務者からの回収にさらなる努力を期待する意見、観光交通対策特別会計においては、渋滞対策について、パークアンドバスライドは経費がかかるため、よりよい対策の研究を期待する意見がありました。

次に、議案第68号の水道事業会計については、有収率について、漏水調査の方法により改善の余地があるとの意見、水道事業ビジョンについて、将来的な市民負担を増やさないよう見直しに取り組むことを期待する意見、議案第69号の下水道事業会計については、下水道全体計画の見直しについて、影響のある市民に対し、しっかりとした説明を求める意見、工事の繰越しについて、当初予算の約半額が繰越しとなっており大きな課題であることから、年度内で工事を完了することが重要であり、工事の分割発注を求める意見、水洗化の促進について、水洗化率向上のため、さらなる努力を期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎福井輝夫委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御意見もないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑を終わります。

次に、教育民生分科会、藤原会長、お願いいたします。

藤原会長。

○藤原清史教育民生分科会会長

去る9月19日の決算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第66号 令和4年度決算認定について」外1件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月26日及び27日に審査を行いました。

「議案第66号 令和4年度決算認定について」中、当分科会関係分及び「議案第67号 令和4年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和4年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は、それぞれ可決、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、議案第66号中、当分科会関係分のうち、一般会計の歳入においては、体育施設使用料について、不納欠損が発生したことを踏まえ、収入未済の再発防止を求める意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、民生費においては、子育て支援センターについて、伊勢市駅前子育て支援センターの交流ひろばにおける遊具の人気が高いことから、他の支援センターについても充実を求める意見、お悔やみコーナーについて、死亡時の手続きは多岐にわたり、可能な限りワンストップで行えるよう、さらなる検討を求める意見、成年後見制度について、制度の理解と利用促進を期待する意見、家計急変・物価高騰等の対策について、今後このような事業については、給付に漏れがないよう、周知の徹底を求める意見、障がい者相談支援について、誰一人取り残さない支援のあり方、支援の輪の広がりを期待する意見、障がい者キッズサポーター制度について、取組を評価するとともに、全小学校で実施できるよう教育委員会との連携を期待する意見、障がい者就労体験サポートについて、多面的な分野にわたり、福祉事業所と連携を図ることで、継続した支援を期待する意見、手話検定試験受験料の補助について、受験者のさらなる増加を期待する意見、障がい者就労施設等からの物品優先調達について、市内企業への理解促進を期待する意見、アプリを活用した福祉相談について、気軽に相談できる手段であり、実りのある相談を期待する意見、ICTを活用した保育について、業務負担軽減が安全な保育に繋がるため、一層の充実を期待する意見、保育士の処遇改善について、一時的なものではなく、継続した支援を期待する意見、親子3人乗り自転車について、制度の幅広い周知、ヘルメット着用の有効性の案内及び利用状況や費用対効果の検討を求める意見、子供の発達支援について、発達の課題の早期発見、保護者や教員との情報共有が大切であるとの意見、生活困窮者支援について、制度の丁寧な説明を求める意見がありました。

衛生費においては、地球温暖化対策について、市民が環境の変化を実感できる調査を期待する意見及び市内企業と連携し、オール伊勢市での取組を期待する意見、市民参加の清掃活動について、ボランティア清掃ごみ袋の配布を通じ、積極的に参加してもらえるよう期待する意見、ペットの飼養について、他市の事例を参考に、吊いの場の設置検討を求める意見、分煙環境の整備について、受動喫煙防止の観点からしっかりと取り組むことを求める意見、骨髄移植ドナー支援事業について、提供者本人だけではなく、勤務先企業へド

ナー休暇が取得しやすい支援を期待する意見、HPVワクチン接種について、中断されていた接種勧奨が再開されたこともあり、さらなる推進を期待する意見、若年者のがん患者支援について、必要な方がサービスを受けられるよう、周知の継続を求める意見、生ごみ処理機の設置について、効果的であり、企業にも拡大することを期待する意見、ごみの減量について、様々な事業に取り組んでいるが、しっかりとした検証や食品ロスのための食べきり運動等、推進に向けたさらなる活動を期待する意見がありました。

消防費においては、災害時における避難困難者について、全ての防災ささえあい名簿登録者の個別避難計画が作成されるよう期待する意見がありました。

教育費においては、食育について、いせっ子朝食メニューコンクールの作品を披露する機会を増やし、朝食を食べる習慣づくりを期待する意見、小学生の英語体験について、全ての子供が関わることのできる内容及び興味がわく周知を求める意見、保育施設へのALT派遣について、幼少期から英語に触れあう環境づくりを期待する意見、学校図書について、貸し出し図書数は増加傾向にあるが、読書をしない子供たちに対してもしっかりとした働きかけを求める意見、小中学校適正規模化について、様々な課題があるが、PTAや地域の方々と協力し、教育環境の整備を進めていくことを期待する意見、通学安全対策について、漏れのない連絡体制を求める意見、職場体験について、職業を体験することだけではなく、税金や社会保険の仕組み等を教えることも必要であるとの意見、不登校対策について、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が変化していることから、教員への地道な支援を求める意見及び保護者に対するしっかりとした支援を求める意見、学校でのICT機器活用について、学校間での連携や授業配信の工夫を期待する意見及び他市の事例も参考にしたオンライン授業の受講体制整備を期待する意見、子供の人権について、子供自身が権利の主体であることを認識し、意識の醸成を図ることが重要であるとの意見、小中学校の屋内運動場について、全ての学校で照明のLED化を進めることを期待する意見、特別支援学級について、クールダウンするスペースの確保が必要であるとの意見、学校図書の充実について、子供たちが読書に親しめる環境づくりを期待する意見、図書館の運営について、指定管理者と協力することで利用者を増やし、よりよい図書館づくりを期待する意見、給食調理員について、人員が不足している現状から、募集に関する情報発信の充実を求める意見、スポーツ施設の活用について、集客誘致を図る大会の開催を期待する意見、スポーツ活動について、子供たちが様々なスポーツに親しむ機会を経て、適性を見極めていくことが大切であるとの意見、インクルーシブスポーツについて、大学や近隣市町等との連携を深め、障がい者と健常者の相互理解が進むことを期待する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、介護保険特別会計においては、介護認定について、非該当と判定された場合であっても丁寧な支援を求める意見がありました。

次に、議案第67号の病院事業会計でございますが、医師確保について、医学生が就職したいと思える魅力ある病院体制を期待する意見、健診について、オプション検査を増やすなど、利用者の要望を聴き、さらなる収益の増加を求める意見、病院収支について、財政収支計画策定時よりも改善していることを評価するとともに、新施設基準も取得しており、今後も職員の処遇改善、収益確保を行い、しっかりとした病院経営となるよう期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎福井輝夫委員長

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑を終わります。

次に、総務政策分科会、岡田会長、お願いいたします。

岡田会長。

○岡田善行総務政策分科会会長

去る9月19日の決算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第66号 令和4年度決算認定について」、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月28日に審査を行いました。

「議案第66号 令和4年度決算認定について」中、当分科会関係分は、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、当分科会関係分のうち一般会計の歳入においては、市税について、督促状の発送等にかかる業務量を削減し、収納事務の効率化を期待する意見及び早期に滞納整理を行うことで収入未済額を減らし、収納率のさらなる向上を期待する意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、総務費においては、保育士の確保について、公立・私立にかかわらず、市全体として対処していくよう期待する意見、職員研修について、市の執務の公平性を担保できるよう、研修を通じて的確な指揮管理が行われることを期待する意見、本年から開始されるインボイス制度について、税制度研修を通じて不備のないように対応することを求める意見、国が進める地方自治体の基幹情報システムの標準化について、システム移行後も市独自の施策が講じられるよう施策の自由度を確保したシステムとなることを求める意見、ふるさと応援寄附推進について、寄附をしていただいた方への返礼品が市内の産業振興の一つとなるよう、さらなる推進を期待する意見、出会い・結婚支援について、結婚は個人の考え方やライフスタイルに関わる問題であり、行政が積極的に関わっていくことには慎重であるべきとの意見、男女共同参画について、推進する事業者等の表彰に係る応募者数を増やす取組に期待する意見、公共施設マネジメントについて、市が所有する公民館等集会施設の自治会等への無償譲渡に関して、マネジメント推進会議で再度検討を行い、公正な結果が得られるよう期待する意見、学校跡地の利活用について、サウンディング型市場調査から得られた様々なアイデアや課題に取り組み、民間事業活動の推進を期待する意見、伊勢まつりについて、人出が見込まれるため、事故が起こらないよう警備や交通の面での対策を進め、安全安心に向けた取組を期待する意見、地域自治推進について、自治会加入率の改善に向けた取組を期待する意見、自治会の担い手不足について、市職員の地域活動への参加を期待する意見及びデジタル化による自治会業務

の削減等により、若い世代の参加促進に向けた支援を期待する意見がありました。
審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。
以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎福井輝夫委員長

以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。
これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。
御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑を終わります。
これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わります。
続いて総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。

続いて議案第66号外3件一括に対する討論を行います。討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。
ただいまから「議案第66号 令和4年度決算認定について」外3件一括を採決いたします。
1件ずつ採決してまいりたいと思います。
まず、「議案第66号 令和4年度決算認定について」を採決いたします。
議案第66号について、これを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。
〔賛成者起立〕

◎福井輝夫委員長

起立全員と認めます。
よって、「議案第66号 令和4年度決算認定について」は認定すべしと決定いたしました。
次に、「議案第67号 令和4年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和4年度伊勢市病院事業会計決算認定について」を採決いたします。
議案第67号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎福井輝夫委員長

起立全員と認めます。
よって、「議案第67号 令和4年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和4年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。
次に、「議案第68号 令和4年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第68号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎福井輝夫委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第68号 令和4年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市水道事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第69号 令和4年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第69号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎福井輝夫委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第69号 令和4年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和4年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

以上で本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時31分

上記署名する。

令和5年10月10日

委員 長

委 員

委 員